

福祉教育実践の支援プログラムメニュー

実施方法

①福祉教育[体験学習]申込書をご記入の上、朝霞市社会福祉協議会（朝霞市ボランティアセンター）へ FAX またはメールでお申し込みください。その後、社協からご担当の先生宛に電話連絡させていただきます。（FAX をいただいた当日にご連絡ができない場合もございます）

- ・先着順で講師等の調整を行なっておりますので、早めのお申し込みをお願いします。
- ・実施日の1ヶ月前までにご相談ください。それ以降になりますと、調整及び対応ができない場合があります。
- ・講師への謝礼等、必要経費がかかる場合があります。
- ・授業の組み立てから打合せを行なっておりますので、ご相談ください。

②借用願いの提出

- ・資材教材の貸出しにつきましては、借用願に必要事項を記入の上、ご提出ください。

③物品の運搬

- ・運搬は各学校にてお願いします。

※体験時の見守り、声掛け支援のお手伝いを福祉教育サポーター（福祉教育実践において、児童・生徒の見守りや補助等を行うボランティア）に依頼することができますので、合わせてご相談ください。

その他

- ・団体・企業等、学校以外での実施も可能ですので、ご相談ください。

支援プログラムメニュー（概要）

事前学習	福祉について
内容	福祉について学ぶ事前学習として、社協の職員が「福祉」をテーマに、クイズやゲームを交えて分かりやすく説明します。
必要時間	45分×1コマ（学年全体対象）
会場	体育館もしくは生徒全員が入れる教室
講師	朝霞市社会福祉協議会 職員
その他	

No. 1	アイマスク・ガイドヘルプ体験
内容	アイマスク体験をし、視覚の不自由な人の身になって考えたり、ガイドの役割について学びます。
必要時間	45分×1コマ（1クラス単位での実施）
会場	体育館もしくは教室・ろう下
講師	朝霞市社会福祉協議会 職員
その他	

No. 2	車いす体験
内容	車いす体験をし、身体の不自由な人の身になって考えたり、使用方法について学びます。
必要時間	45分×1コマ（1クラス単位での実施）
会場	体育館もしくは学校内敷地、学校周辺
講師	朝霞市社会福祉協議会 職員
その他	

No. 3	手話体験
内容	聴覚に障害がある方を講師に招き、聴覚障害についての講演、体験を通じて聴覚障害の理解を深めます。
必要時間	45分×1コマ（学年全体）
会場	体育館もしくは生徒全員が入れる教室
講師	朝霞市聴覚障害者協会
その他	謝金については要調整

No. 4	当事者の講演・体験談（視覚障害について）
内容	当事者から障害についての苦労や努力、生活の工夫等の話を聞きます。講演を通して、障害のある人の理解を深めます。
必要時間	60分～70分 ※2コマ 3.4限目もしくは5.6限目（学年全体）
会場	体育館もしくは生徒全員が入れる教室
講師	視覚に障害のある方
その他	講演中のメモはとらないようお願いします。 謝金については要調整

No.5	高齢者疑似体験
内容	身体に重りやサポーターをつけることで、高齢者の身体状況の体験ができ、高齢者の理解を深めることができます。
必要時間	45分×1コマ（1クラス単位での実施）
会場	体育館もしくは教室
講師	朝霞市社会福祉協議会 職員
その他	対象学年は5年生以上。1～4年生は要相談。

No.6	発達障害について
内容	障がい児の発達保障及び障がい児・者の家庭の豊かな生活づくりのために活動するNPO法人の職員から話を聞きます。
必要時間	45分×1コマ（1クラス単位での実施可能）
会場	体育館もしくは生徒全員が入れる教室
講師	NPO法人 なかよしねっと 職員
その他	対象は中学生以上